

第3次徳島市環境基本計画、
地球温暖化対策推進計画策定のための市民会議
第2回会議 議事要旨

令和2年1月30日（木）午後1時30分～3時30分

徳島市役所8階 801会議室

1. 開会

黒川 部長

<部長あいさつ>

徳島市市民環境部長の黒川でございます。本日第2回第3次徳島市環境基本計画、地球温暖化対策推進計画策定市民会議を開催するに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

上月会長様はじめ、市民会議の皆様方におかれましては、御多用中にもかかわらず本会議に御出席を頂き誠にありがとうございます。

さて、第1回の市民会議におきましては、このたび策定いたします、環境基本計画及び地球温暖化対策推進計画の基本的事項及び現計画の進捗状況について事務局より御説明を申し上げ、皆様に御審議を頂いたところでございます。

本日の第2回の市民会議では、さらに一歩進んで徳島市の環境に関する特性と課題について市民アンケートの結果等を踏まえながら、事務局から御説明させていただきます。

様々な立場からの忌憚のない意見をいただければ幸いです。よろしく御審議のほどお願いいたします。

今後とも皆様方にはこの市民会議を通じまして、お知恵を拝借するとともに徳島市まちづくり総合ビジョンで掲げております、地球環境と美しく豊かな生活環境を守るまちを作るという思いを共有していただき、取り組みを進めてまいりたいと思っております。

本市の環境行政への推進に御理解、御協力御尽力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

<委員自己紹介>

第1回市民会議を欠席した委員より自己紹介（環境保全に関するこれまでの活動歴など）が行われた。

2. 議事

事務局 <事務局より資料説明>

<質問・意見>

委員 徳島市の総電力使用量の推移（別冊資料25ページ）に記載されている電力使用量について、「四国電力より販売電力量の公表がなされなくなったため、推計による数値となっている」となっているが、どのように推計したのでしょうか。

事務局 全国の都道府県、県単位の電力量から、世帯数や製造品等出荷額などを考慮して按分によって推計しています。

委員 電力使用量は2010年以降減少傾向にありますが、減少した原因はなんのでしょうか。

事務局 あくまで推測にはなってしまいますが、東日本大震災後、節電意識が浸透してきたというのも1つの要因にはあると思います。

会長 人口減や工場の出荷額が減った等、社会的なアクティビティが下がったことによるものではないんですか。

事務局 そういった要因もあるかと思います。

会長 総電力使用量を記載していますが、一人当たりで示した方が実態と合うのかもしれませんが。人口が減っているので、総量で見ると電力使用量が減っているように見えるけれど、一人当たりの使用量は減っていない、ということもあるかもしれない。

オブザーバー 温室効果ガス排出量の推計結果（別冊資料23ページ）では、2030年に総排出量0.8%減となっています。県では2050年温室効果ガス0、2030年50%削減の計画を今作っている最中です。県の数字とかなり違うと思われるかもしれませんが、これは何の対策も打たずに、活動量等がそのまま推移したと仮定して計算している表です。県の場合は0.7%減です。ここからあらゆる対策をしていき、50%減を目指すということです。

委員 資料1ページ「光化学オキシダントについては、全国的に環境基準達成率が低く・・・」とありますが、これは何を基準にして低いということでしょうか。30～

40年前、光化学スモッグで目が痛いなど、いろいろ問題が出て、その後、いろいろな基準が出来て達成していったのではないですか。

委員 県と市で定点観測、常時定点観測をしています、一時的に基準値を超えるときがあります。

事務局 どうしても一時的に環境基準を超えてしまう時間帯があります。この原因については自動車の影響とか、越境汚染等の要因が考えられていますが、はっきりしていません。

委員 中国からの黄砂の時期、春先に基準を超えることが多いかと思います。

委員 徳島市としては、施策を進めていって、最終的にはゴミ減量や大気汚染の防止といった目標を達成したいということでしょうか。

事務局 現状やアンケート結果を踏まえて課題を洗いだし、それに基づいた施策を次回お示しいたします。市の環境に対しての施策は環境保全課だけでの仕事にはなりません。いろいろな部署がございますので、いろいろな部署での考えを集めての計画になっていくと思います。

委員 温室効果ガスの排出量の推計結果（別冊資料23ページ）ですが、2050年までの推計がありますが、廃棄物部門は2050年あたりから急激に数値が下がっていますが、何か急激に減少する要因があるのでしょうか。

事務局 人口の自然減が影響してくると思います。この数字に、施策を行った効果による減少というのはのせていません。

委員 プラスチックの海洋汚染について、あまり書かれていないようです。自然界に流れ出ている廃棄物が海洋汚染につながっていると思います。正規の処理ルート以外で捨てられるものを少なくする対策が必要かと思います。

事務局 市民アンケート、問15「生活の中で環境のために取り組んでいること」という問の中に「プラスチックゴミの削減を心がけている」という項目があります（別冊資料43ページ）。ここに市民の現状が現れていると思います。この数字を増やすための施策が必要かと思います。

委員 4（ウ）の温室効果ガス総排出量（別冊資料17ページ）のところで、フロンのごとが書かれています。市としてフロン対策を課題にいれるというのはないのでしょうか。

もう1つは資源ゴミ回収運動の実績（別冊資料26ページ）が減っているというこ

とですが、原因は団体の減少なのか、回収量の減少、どちらでしょうか。

事務局 資源ゴミの回収の状況ですが、活動自体は活発にさせていただいておりますが、主な回収資源である新聞の流通量自体が減っていること、他に代替えで出す場所（市のエコステーション等）が増えたので、資源回収の場所に持って行かれる方が増えたため、回収量が減っています。また、回収資源が重いビンから軽いスチール缶に変わったり、紙ゴミの減少等が要因となり、数字的に減っています。

オブザーバー フロン排出抑制法については、環境省が所管してしまして、一部業務を県が請負っています。市に降りている事務はほとんどないため、市の施策としては、挙げにくいかと思います。

委員 「生活の中で環境のために取り組んでいること」（別冊資料43ページ）で環境家計簿について触れていますが、回答者がそもそも環境家計簿を知らないのではないのでしょうか。

事務局 環境家計簿とは、家庭でのエネルギーの使用量から二酸化炭素排出量を換算し、家庭からの二酸化炭素排出量を把握するためのツールです。徳島市では「エコライフカレンダー」を作成し、これに環境家計簿を盛り込んでいますが、なかなか取り組む家庭が増えていないというのが現状です。

委員 徳島市消費者協会では県消費者協会とタイアップして、家庭でのエネルギー消費量から二酸化炭素排出量を換算する取組みをしています。検針票を見て数字を書けばいいだけですから、取り組みやすいと思います。

ところで、ペットボトルの売り先、徳島市は大丈夫なんですか。回収先が滞っている、というのを新聞やニュースで知りました。

事務局 徳島市は独自ルートでなく、国のルートを使っていますので、ペットボトル、廃プラスチックの分、リサイクルは順調に進んでおります。

委員 ニュースで聞くので気になっていました。

それと、徳島市内の景観で、街路樹の中の草取りがとても残念だと思います。草花の植え付けはきれいにお花が植えられていますが、せつかくの街路樹の中に茅が蔓延しています。あれだけ茅がはびこってきたら、なかなかシニアの労力では取れないと思うので、美しくする方法を検討していただきたい。それと、場所によって管轄が市であったり国交省であったりするとは思いますが、連携して対処してほしいと思います。観光客の目に入るところなので、とても気になります。

事務局 関係課と検討したいと思います。

委員 市民アンケートの対象者の抽出方法についてですが、アンケートを配布した年齢割合はどのような割合だったのでしょうか。回答割合を見ると半数近くが60歳以上の方になっているので、これで市民の声が集められたのか、と違和感があります。

事務局 アンケート対象は、行政地区ごとの人口比及び男女、年齢比に合わせて無作為抽出しております。若い世代の方につきましては、面倒くさいとか、興味がないということで、御返答が少なかったのかなとは思いますが。

委員 ゴミの排出量の削減が大きな目標の1つになると思います。家庭や事業所から出るゴミの削減はもちろんですが、生産業者や販売業者に対しての施策は盛り込めないでしょうか。

事務局 徳島市では一般廃棄物処理基本計画を進めていて、不要なゴミを作らないことをお願いしております。昨年閣議決定もされました食品ロス削減。国では製造業者、販売業者ともに削減率を定めており、徳島市もこれに参画しています。そういう形で事業者さんの方にも働きかけをさせていただいております。

会長 廃棄物のところに汚泥というのが出てきますけれども（別冊資料21ページ）、汚泥というのは、何なんでしょうか。

事務局 産業廃棄物は、物質または排出の形態によりまして、全部決められております。その中で汚泥に該当するものとしましては、溝等の清掃から出るものが汚泥です。また、下水の汚泥でありますとか、家畜の糞尿でありますとか、そういうものが該当します。それを乾燥させて燃やして発電に使ったりしています。

会長 それを汚泥というんですか。

事務局 分類上汚泥になります。

会長 「産業廃棄物処理量の推移」の表（別冊資料22ページ）ですが、廃プラスチック類が2013年に急激に増加している要因は何なんでしょうか。

オブザーバー 廃棄物処理計画は5年に1回、抽出して調査しますので、どうしても、調査した先によって変わってしまいます。その数字を倍数するので差が出てしまう。

会長 総量は誰もわからないということですか。

オブザーバー 総量についてまでは調査できません。大きい傾向しかわかりません。

会長 別冊資料39ページの満足度と重要度の図が重要だと思います。污水处理や、防災、歩道とか交通の問題とか不法投棄、ゴミの問題が「重要度は高いが満足度が低い」施

策として捉えられています。「重要度、満足度ともに低い」項目には、環境学習や環境保全活動などが挙がっています。

委員 市民が重要とは考えていないけれども、啓発することによって、重要と考えるべき項目もあると思う。単に「重要度が高く、満足度が低い」とされている施策だけを展開するのではなく、必要に応じて重要度が低い項目でも、重要度を上げる施策を展開していく必要もあると感じました。

委員 この市民アンケートは、回答者が高齢層の人がかなり多い。環境教育、環境学習、主要な野生生物の保護などは「重要度、満足度ともに低い」とされていますが、徳島市の学校等ではかなり活発に活動されていますので、実態に合っていないような気がします。市民アンケートの結果だけでなく、位置づけを再度考慮してやるべきだと思います。

事務局 機械的にアンケートの結果をプロットしていますので、委員の方々の御意見を反映していくべきだとは考えております。

委員 私も今言われた件は、最もだと思います。仕事をリタイアした世代の人の考え方と、これから徳島市を背負っていく若い世代の人との考え方はおそらく違うと思います。私は若い世代の人の意見を取り入れてほしいと思います。

会長 アンケートについては、再度年代別に取りまとめてください。若い世代の人がどう思われているのかまとめて直していただきたい。今回提示された結果と、若い世代の人の結果が大きく違うものがあれば、そこは考慮したいと思います。

次回ですけれども、市のほかの計画で決められている定量目標等があったら、紹介していただきたいと思います。

3. 閉会